

農学部 バイオセラピー学科

セラピー

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
学部共通	人間関係科目	必 情報基礎(二)	2	L2				
		選 生命倫理	2		L2			理生
		選 科学と哲学	2			F2		
		選 芸術	2	F2				
		選 文化人類学	2		F2			
		選 日本国憲法	2	L2				必
	社会関係科目	選 経済入門	2	L2				
		選 現代社会の諸問題	2		L2			
		選 国際関係を考える	2		F2			
	自然関係科目	選 生物学	2	F2				(理生)
		選 化学	2	F2				(理化)
		選 数学	2	L2				
選 物理学		2	L2				(理物)	
総合教育科目	課題別科目	地 地学	2		L2			(理地)
		食料生産と自然環境(農学部)	2					
		バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
		環境と人間(地域環境科学部)	2					
		世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
		寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
全学共通	英語科目	必 英語(一)	2	F2				必
		必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2		F2			
		必 英語(四)	2		L2			
		英語リーディング(一)	2	F2				
		英語リーディング(二)	2	L2				
		TOEIC英語(一)	2			F2		
		TOEIC英語(二)	2			L2		
		英会話(一)	2	F2				
		英会話(二)	2	L2				
		ビジネス英語	2				F2	
		科学英語	2				F2	
学部共通	初修外国語科目	中 中国語(一)	2		F2			
		中 中国語(二)	2		L2			
		ド イ ツ 語(一)	2		F2			
		ド イ ツ 語(二)	2		L2			
		フ ラ ン ス 語(一)	2		F2			
		フ ラ ン ス 語(二)	2		L2			
		ス ペ イ ン 語(一)	2		F2			
		ス ペ イ ン 語(二)	2		L2			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
		キャリアデザイン	1		L1				
		インターンシップ	1			1			
		ビジネスマナー	1			F1			
		必 共通演習	1	L1					
	学部共通	リメンタル教育科目	基礎生物学	2	F2				
		基礎化学	2	F2					
		基礎数学	2	L2					
		文章表現	2	L2					
		専門教育科目	専門共通科目	必 ★ 農学原論	2	F2			農
				環境科学	2		F2		理化
生物化学	2			F2			理化		
動物福祉	2				L2				
動物園論	2				L2		理生		
★◆健康福祉概論	2			F2					
学部専門	★◆心理学概論		2	L2					
	知的財産論		2		F2				
	実学的生命活用		2		F2				
	農業と生態系		2		F2		農		
	農業経営学		2		L2		農		
	★ 植物生理生態学		2	L2			理生		
学際領域科目	植物生長調節論	2		L2		理生			
	生命科学	2	F2			理生			
	分子生物学	2		L2		理生			
	民族植物学	2		F2					
	自然再生技術論	2		F2		理生			
	地球環境政策論	2		L2					
	学部専門	専門基礎科目	必 ★ バイオセラピー概論	2	F2				
			必 ★ 生物学実験	2		2		理生	
			化学実験	2	L4			理化	
			必 植物共生学	2	F2			理生	
			必 ★ 人間植物関係学	2	L2			理生	
			必 野生動物学	2	F2			理生	
必 伴侶動物学			2	L2			理生		
必 動物介在療法学(一)			2	L2					
必 ★◆植物介在療法学(一)			2	F2					
★ ボランティア論			2	F2					
★ 生物保全学			2	F2			理生		
家畜生理・生体機構学			2	L2			農		
遺伝学	2	F2			理生				
★◆ 人体生理学	2	L2							

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門 教育 科目	専門基礎科目	生物統計学	2		F2			理生	
		生物環境関係法規	2			L2			
		家畜行動心理学	2			L2		農	
		子どもの発達と生き物	2	L2					
		必★農業実習(一)	2	F4				農	
		必★農業実習(二)	2	L2				農	
	植物共生分野の科目	★植物育成管理論	2		F2			理生	
		植物地理学	2		L2				
		★植物形態・分類学	2			L2		理生	
		社会園芸学	2		F2			農	
		都市園芸学	2		L2			農	
		★野菜・草花の育て方	2			F2		農	
		★果樹・樹木の育て方	2		L2			農	
		★ハーブの育て方	2		F2			農	
		動物共生分野の科目	野生動物生態学	2	L2				理生
			世界の動物	2			F2		
			動物形態・分類学	2			F2		理生
			伴侶動物ブリーディング論	2			F2		理生
			家畜管理学	2		F2			農
			家畜栄養学	2		F2			農
			★◆植物介在療法学(二)	2	L2				
			★園芸植物活用法	2			F2		農
	動物介在療法学(二)		2		F2				
	心理臨床・教育と動物		2		L2				
	生物介在療法分野の科目	介在療法動物論	2	L2					
		★◆リハビリテーション医学概論	2	L2					
		★◆社会福祉概論	2	L2					
		★療法の場の設計	2		F2				
		★◆生物介在療法評価法	2	L2					
		★◆看護・介護概論	2	F2					
		必★分野別基礎実験・実習	2		2				
		必★分野別実験・実習・演習	6			6			
総合化科目	必★分野別応用実験・実習・演習	6				6			
	必★卒業論文	4							

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
55単位	12単位	57単位	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
 ・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラム・植物介在療法特別カリキュラムで修得した単位のうち、30単位まで
 リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目, Lは後学期配当科目を表す。
 2 総合教育科目の人間関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
 3 総合教育科目の社会関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
 4 総合教育科目の自然関係科目は5科目中から2科目を選び必修とする。
 5 総合教育科目の初修外国語は在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)
 6 学科専門-専門基礎科目の「農業実習(二)」は一部を集中で開講する。
 7 学科専門-専門基礎科目の「生物学実験」と総合化科目の「分野別基礎実験・実習」は隔週で通年開講する科目である。
 8 学科専門-総合化科目の「分野別実験・実習・演習」・「分野別応用実験・実習・演習」は隔週で通年開講する科目である。
 9 ★は、日本園芸療法学会認定「登録園芸療法士」および「専門登録園芸療法士」受験資格取得に必要な科目で、「登録園芸療法士」の場合は所定の科目を、「専門登録園芸療法士」の場合はすべての科目を修得しなければならない。
 10 ◆は、植物介在療法特別カリキュラム(3年次)の受講に必要な科目、原則として2年次までに◆の全科目(9科目)を修得しなければカリキュラムを受講することができない。

セラピー

農学部

植物介在療法特別カリキュラム

セラピー

(1)カリキュラム設置の目的

時代の急激な変化や諸々の社会問題は、人々に大きなストレスや焦燥感を与え、こころに関係する病が増加しています。一方、生き物は人々の心を和ませ、安らぎや快感、活力、生気を与え、交流の場を創り出します。そこで、これまでの経済主導型の農学ではなく、人々の心身の健康の回復や維持・増進、さらには癒しなど、新たな生き物の役割が注目され始めました。

高齢者や障害者のほか、療法的支援を必要とする人々を対象とした、生き物の療法的活用（生物介在療法）が全国各地の福祉施設や医療機関で注目され、その専門家の育成が早急に望まれています。

このような社会状況をうけ、2008年4月には日本園芸療法学会が設立され、日本全国で統一した園芸療法士資格認定制度の整備を目指し、医療関係者が中心となって、本格的な専門家養成を始めました。

植物介在療法学研究室は、これらの流れから、本学4年間を通じて園芸療法に必要とされる、園芸療法、園芸、医療、福祉、セラピューティックレクリエーション、マネジメント分野での必要な知識と技能の修得をめざし、以下の特別カリキュラムを設定し、これからの社会に求められる園芸療法士養成を目指します。

(2)内容

園芸療法とは、医療や福祉の領域で支援を必要とする人たちの幸福を、園芸を通して支援する活動です。したがって、園芸技術のみならず医療・福祉の分野にも精通しなければなりません。

対象者をよりよく理解するための話し方、聴き方などの実践手法から、園芸療法の視点からみた植物栽培や、土壌・肥料・気候等の基本的知識の理解、食べ方・遊び方・飾り方などの利用法、療法のための場づくり、という園芸実践知識、また臨床現場や福祉現場に必要な医学、リハビリテーション、障害者福祉、介護技術、セラピューティックレクリエーション手法など、多様な場面に多様に対応できる専門的基礎知識と技術の修得ができるカリキュラムを提供しています。

(3)開講科目（バイオセラピー学科配当科目表の★のほかに必要とする科目）

植物介在療法特別カリキュラム	授 業 科 目	単 位 数	配 当 学 年	配 当 学 期	授 業 科 目	単 位 数	配 当 学 年	配 当 学 期
	医 学 一 般	2	3	F	カウ ン セ リ ン グ 論	2	3	L
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2	3	F	医 療 ・ 福 祉 政 策	2	3	L
	組 織 マ ネ ジ メ ン ト 論	2	3	F	人 間 生 物 関 係 の 精 神 医 学	2	3	L
	生 き 物 に よ る 作 業 療 法	2	3	F	◎ 生 物 に よ る リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	2	3	L
	植 物 の ふ や し 方	2	3	F	◎ 療 法 用 植 物 の 栽 培	2	3	L
	園 芸 療 法 実 習（一）	2	3	F	園 芸 療 法 実 習（三）	2	3・4	T
園 芸 療 法 実 習（二）	6	4	T	* 配当学期欄のFは前学期、Lは後学期、Tは通年配当科目を表す。				

(4) 本カリキュラムの特色

① 開講の対象

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生を対象としたカリキュラムで、開講学年は3・4年次となります。園芸療法実習を除き厚木キャンパスで開講します。

② 授業の開講について

本カリキュラムを受講するには、バイオセラピー学科配当科目表の◆印の全科目（9科目）を原則として2年次までに修得していることが条件となります

1) 各講義科目（関係科目）は、原則として各学期で週1時限（1コマ90分）開講の2単位です。

2) 園芸療法実習

実習は、(一) 医療・福祉施設での旧実習等1週間：3年次

(二) 医療・福祉施設での長期実習3ヶ月：4年次

(三) 海外講師による実習 隔年実施

園芸療法実習（二）は、植物介在療法特別カリキュラム開講科目のうち◎印の科目を受講し、かつ実習適性を判断したうえで受講を許可します。

③ 修得単位数について

本カリキュラムによる修得単位は、他学科聴講・他学部聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムにより修得した単位との合計修得単位のうち30単位までを選択科目として卒業要件単位に加えることができます。なお、本カリキュラムによる修得単位は、年間および学期ごとの履修制限単位数には含みません。

④ その他

園芸療法実習（一）、（二）、（三）の実習中の生活費、交通費等は、実習生負担となります。尚、必要な委託管理費は次の通りです。

授業科目	委託管理費
園芸療法実習（一）	—
園芸療法実習（二）	約40,000円
園芸療法実習（三）	約100,000円

(5) 日本園芸療法学会認定「登録園芸療法士資格」、「専門登録園芸療法士資格」について

「登録園芸療法士」の資格は、バイオセラピー学科で所定の単位と本カリキュラムを修得し、日本園芸療法学会が定める学会所属年数（3年以上）を満たすことで、受験資格が得られます。なお「専門登録園芸療法士」の受験資格を目指す学生は、植物介在療法特別カリキュラムで開講する全科目の単位を修得するほかに、バイオセラピー学科授業配当科目表にある★印のついた科目は必ず修得して下さい。

「専門登録園芸療法士」の受験資格には、高度な知識と技術を習得するために、卒業後2,000時間の実務経験（バイオセラピー学専攻博士前期課程の演習などで対応可能）を経る必要があります。

資格認定基準は変更になる可能性があります。資格取得をめざす学生は、日本園芸療法学会ホームページ

<http://www.jhta2008.join-us.jp/index.html> を参照してください。

(6) 履修上の注意事項

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生を対象とします。他学部・他学科の学生は履修できません。